

5/21 高雄

暴走政権止める



共謀罪

衆院委強行採決

「未来のための公共」による国会正門

前抗議（19日夜）。参加者は、「共謀罪案強行採決への怒りを語りあつた。

未来のための公共 国会正門前抗議行動

怒る

京都大学の高山佳奈子教授（刑法学）は、「共謀罪」法案の廃案に向け「やるべき」と力を込めました。

上智大学の中野見二
「おやぢょう」と
訴えました。「自公の
教授（政治学）は」「国
数の力を私たちが止め
る必要があります。共
謀罪の内容がわかれば
反対は広がります」
家の資産を浪費して、憲
法も法律も曲げていいや
のはだれですか。私た
ちの手で日本に立憲政

（吉田謙次）「お詫びをせん。廢案に
さへは、「共謀罪が成立した」と訴えました。
立したら、官邸前で声をあげるのも不安にな
るところを聞く」ときあてもできなくなる
しながい、「ほうって可能性も出していく。こ
れ以上、安倍政権を続

民連合の佐々木實共同
代表は「歴史的」にこれ
ほど危険で粗雑な法案
はない。すべての人の
基本的自由が脅かされ
る。強行は安倍政権の
断末魔でもある」と強
調しました。

日本共産党的種渡士自夫県委員長は「国会質疑で問題点がボロボロに浮かび上がった法案は廃案しかない」。社民党的小山芳元県連代表は「市民が監視の

福井県越前市に通じ
田舎者さん(73)は、
「市民の声を一顧だに
しないやり方で進めるな」と
安倍首相は「裸の王様」です。市民と緊距
離が共闘して衆院選で大勝
倍と党に勝ちたい」。

A black and white photograph of a man standing in front of a wall covered in graffiti. The man is positioned on the right side of the frame, facing towards the left. He is wearing a light-colored, possibly white, jacket over a dark shirt and dark trousers. The wall behind him is covered in a dense, abstract pattern of graffiti, featuring large, bold letters and various symbols. Some of the visible text includes 'NO' repeated multiple times in different styles, and other partially obscured words or characters. The overall composition is a street-style photograph with a focus on urban art.

「やがて」

怒りを込めて多くの人が参
加した集会＝19日、新潟市

「廃案へ」「これからだ」

新潟市民と6野党心一つに

共謀罪NO・実行委員会in新潟、市民連合@新潟、総がかり行動実行委員会は19日、た。新潟駅南口広場で「共・憲法センターの佐藤一弥代表は「衆院法務委員会での強行採決に満身の怒りを込めて抗議する。たたかいの本番はこれから」。市

されば政治を変えられる。民進党県連の加藤大弥常任幹事は「共謀罪」は民主主義と相いれない」と力を込め

の中山均・共同代表も決意表明しました。

